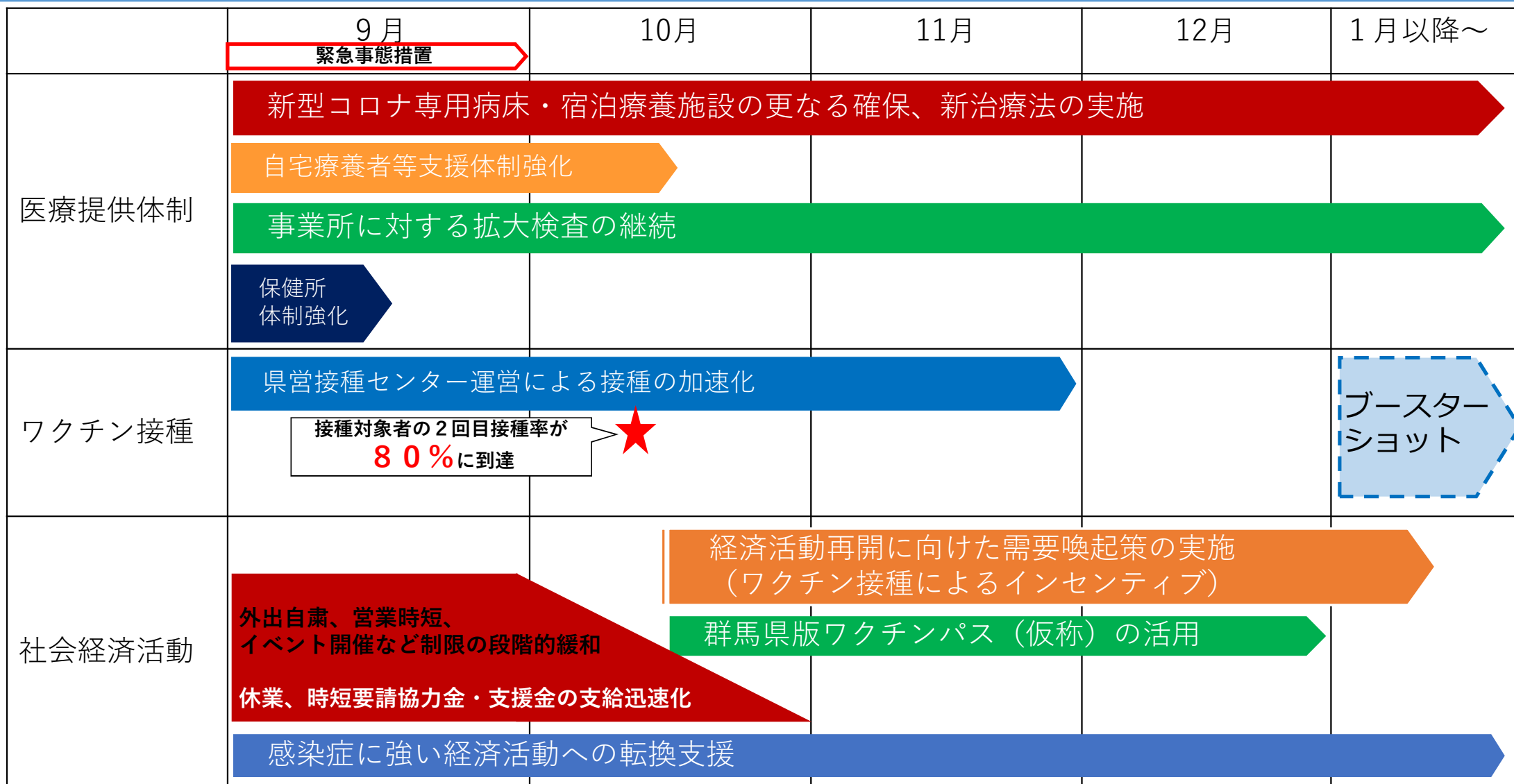


新型コロナウイルス対策ロードマップ

～日常生活のいち早い回復に向けて～

(群馬県版ワクチンパス(仮称)の導入)

新型コロナ対策ロードマップ



新型コロナ対策ロードマップ（イメージ）

9月1日

9月末

10月末

11月末

1月以降

新規感染者数
(180人/日)

ワクチン接種率
12歳以上 57%

病床+ホテル
(472床+1,133室)

76%

全国最速

★ 8割到達

84%

順次拡充
552床+ 1,650室

再拡大？

感染抑制？

医療提供体制の強化－ 1

新型コロナ患者専用病床の更なる確保

① 更なる病床確保の推進

各医療機関に更なる確保を要請

【現状】472床 → 【目標】**552床** (+80床)

② ネーザルハイフロー療法※1の実施推進

中等症以上の患者を受け入れる医療機関に、設備整備費を補助

【現状】8施設 → 【目標】**18施設** (+10施設)

③ 抗体カクテル療法※2の実施推進

県内18病院で投与を開始、入院から宿泊療養への切替を促進

【現状】18施設 → 【目標】**26施設以上** (+8施設以上)

④ 早期の症状軽快者、回復患者の退院促進

早期の症状軽快者は、宿泊療養（自宅療養）へ切替え促進

⑤ 酸素ステーション設置

受入医療機関の負担軽減のため、療養者の一時待機所を設置

⑥ 救急・周産期・小児等コロナ疑い患者受入強化

休日・夜間に妊産婦を含む疑い患者の受入れを行う医療機関を支援、患者の受け入れを促進



新型コロナウイルス感染症患者入院病床

※1 ネーザルハイフロー療法：鼻に差し込んだチューブから多量の酸素を送り込む治療法。人工呼吸に近い効果が期待される。

※2 抗体カクテル療法：2種類の抗体を混ぜ合わせて投与することでウイルスの働きを抑える治療法。

医療提供体制の強化 - 2

軽症者等療養場所の確保・機能強化

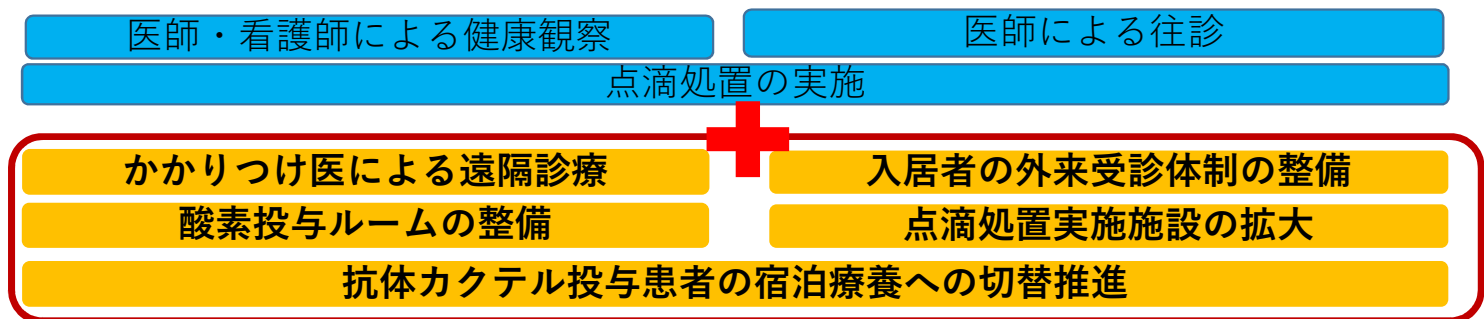
① 稼働施設数の更なる拡大、運営体制の拡充

	拡充前	拡充後
稼働施設（棟）数	3 ホテル 4 棟	7 ホテル 8 棟（+ 4 ホテル 4 棟）
稼働室数	971室	1,650室程度（+ 679室程度）
1日当たりの宿泊者数	480人	960人（+480人）
1日当たりの新規入所者数	120人	240人（+120人）
健康観察を行う医師	4人	8人（+ 4人）
〃 看護師	20人	40人（+ 20人）
搬送体制（車両数）	7台	15台（+ 8台）



宿泊療養施設

② 医療機能の強化



宿泊療養施設内点滴処置ルーム

宿泊療養施設を最大限利用することにより、限りある医療資源を効果的に活用

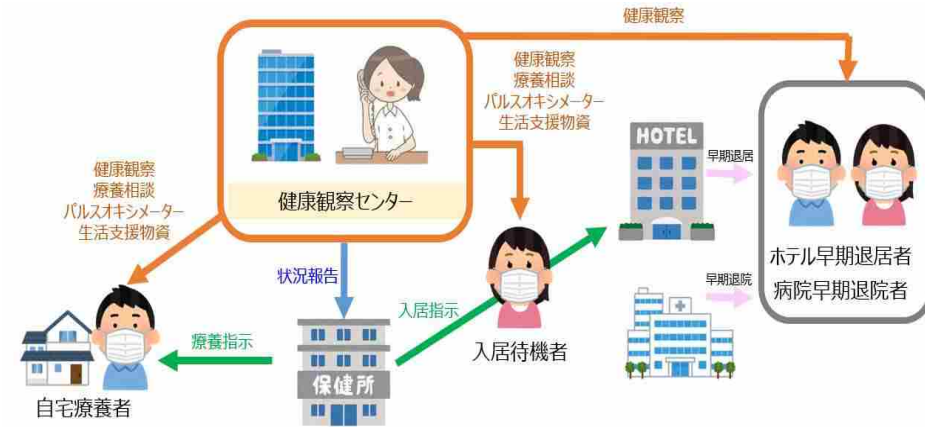
医療提供体制の強化－3

自宅療養者・入居待機者・早期退院者等への支援の拡充

①「健康観察センター」の拡充

1,000人を超える自宅療養者等に対応できる体制を整備
 (毎日2回程度、アプリへの入力確認を含め、直接状況確認を行う)

	拡充前	拡充後
専用電話回線	30回線	90回線 (+60回線)
看護師(委託)	22人	60人 (+38人)



②必要物品の提供体制の確保

発生届出日の翌日に発送できる体制を確保

パルスオキシメーター	対象者全員に貸与/5,200個(確保済)
生活支援物品	希望者全員に配布

③受診協力病院の確保

自宅療養者等の外来診療を行う医療機関を確保

④搬送体制の確保

交通手段のない自宅療養者等を搬送する体制を確保



自宅療養者等に対し健康観察などを行う看護師

不安を抱える自宅療養者等に寄り添い、健康状態に応じ、必要な医療に結びつける体制を確保する

医療提供体制の強化－４

PCR検査件数の増加、保健所体制の強化

PCR検査件数の増加

①事業所に対する検査の拡大・効率化

陽性者が確認された事業所等を対象に、PCR検査を実施

②診療・検査外来における検査の促進

診療・検査外来について、受診相談コールセンター等からの紹介患者を受け入れを促進

保健所体制の強化

①「積極的疫学調査支援チーム」の編成

県庁各課職員による支援チームを編成、業務が逼迫する保健所の積極的疫学調査を支援

②保健所業務総合サポート

伊勢崎、太田、館林、桐生の４保健所に、上記支援チームとの連絡調整や進捗管理を行う職員を配置

ワクチン接種

ワクチン接種の更なる加速化

○県央ワクチン接種センターの接種期間の延長

県民への接種機会を確保し、接種率の更なる向上を図るため、県央ワクチン接種センターにおける接種機能を拡充

1日最大 1,000名
期間合計 24,800名

■ 1回目接種の期間延長

9月4日（土）まで → 10月2日（土）まで

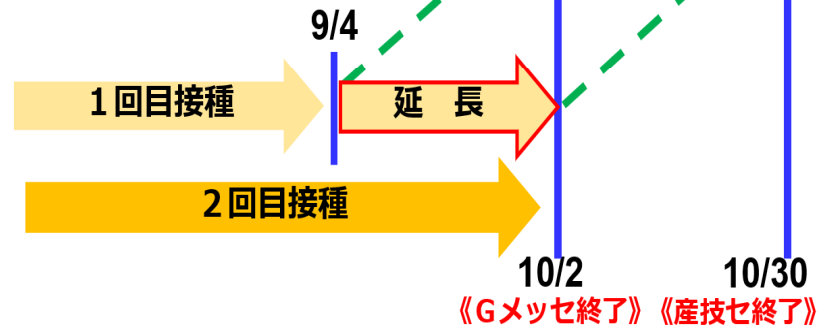
■ 接種会場の変更

10月2日まで	Gメッセ群馬（展示ホール） <高崎市>
10月3日以降	県立群馬産業技術センター （多目的ホール） <前橋市>

産業技術
センター

Gメッセ

- ① 延長期間に1回目接種した方の2回目接種
- ② 他都道府県で1回目接種後に、群馬に移動した方の2回目接種



※3回目の接種（ブースター）に関しては、国の方針決定後、迅速に対応できるよう、検討・準備を進める

社会経済活動

「第5波」収束後の経済活動再開に向けた需要喚起

感染の収束状況、ワクチン接種の進捗状況等を見極めた上で実施

① 愛郷ぐんまプロジェクト（第3弾）（1人あたり**5,000円**/泊・ツアー）

県民（ワクチン接種済者等限定）向け宿泊・日帰り旅行への助成

○実証実験

本格実施前に、宿泊割引について試行的に実施

○宿泊割引・日帰り割引

ワクチンパス等を活用し、日帰り旅行割引も含めて全面的に実施



② ぐんま GoToEat ワクチンプレミアム

利用券の販売再開、店内飲食での利用可

○ワクチン接種済者等についてプレミアム率上乘せ（25%→**30%**）

このほか引き続き、市町村や団体等と連携した取組を推進

休業・時短要請への対応

- ・ 営業時間短縮等要請協力金
 - ・ 事業継続支援金
- の支給迅速化

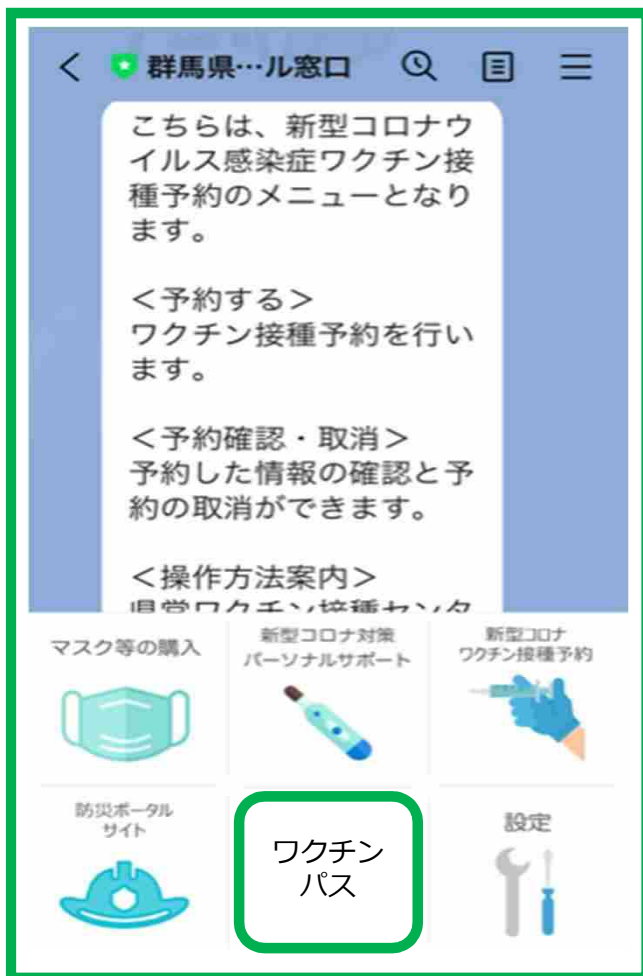
感染症に強い経済活動への転換支援

- ・ ストップコロナ！対策認定制度
 - ・ ニューノーマル創出支援
 - ・ テレワーク推進
- など



群馬県版ワクチンパス（仮称）

A3



群馬県デジタル窓口の活用を検討

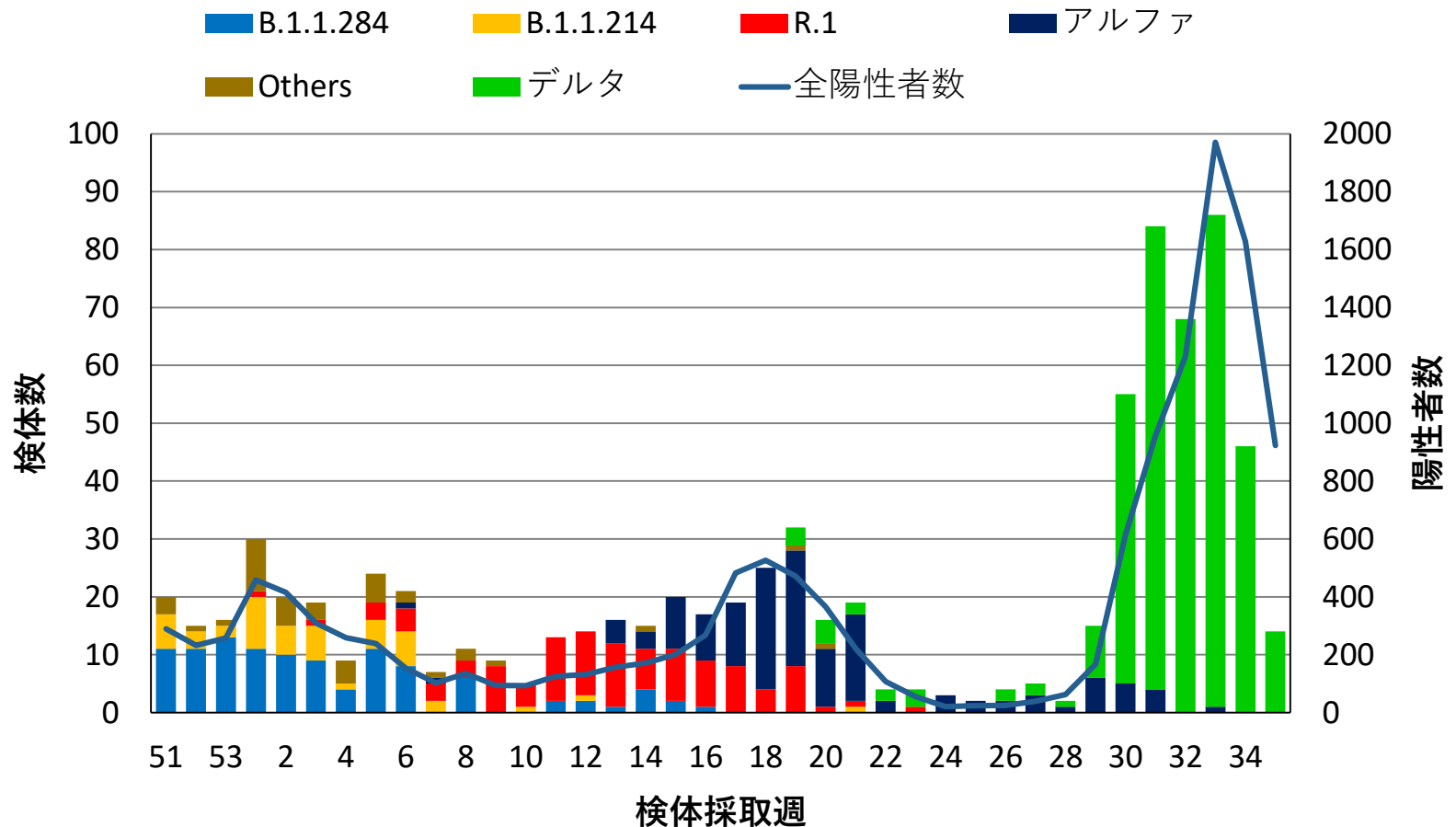
友だち登録 **512,606人** (R3.9.9現在)

- 10月中旬頃の活用開始を想定
- 愛郷ぐんまプロジェクトでも活用

※国の接種済証のデジタル化とも連携

群馬県における新型コロナウイルスのゲノム解析

第35週（R3年8月30日～9月5日）まで



※陽性患者数は新型コロナウイルス感染症対策サイトのオープンデータより引用